

授業科目名 <英訳>		医療統計学実習 Introduction to Statistical Computing and Data Management		担当者所属・職名・氏名		医学研究科 教授 佐藤 俊哉 医学研究科 特定助教 山本 倫生					
配当年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2015・前期	曜時限	火3,4	授業形態	実習	使用言語	日本語

[授業の概要・目的]

医療統計学実習では、医療統計学講義で学んだ医療統計の考え方を実際に目で見て、体験することを目的とします。医療統計学の理解を深めるためにはお勧めの実習です。統計ソフトJMPによる簡単な集計、解析、プログラミングを実習します。実習のレポートはワープロソフトWordで作成してもらいます。図表などは表計算ソフトExcelを使って作成します。プレゼンテーションはプレゼンテーションソフトPowerPointを用いて行います。これらのソフトの使い方も学びます。

統計ソフトJMPは京都大学でライセンス契約しています。医学研究科の学生さんは医学研究科ホームページの、

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/software/JMP/>

から「JMP利用申請書」をダウンロードして、内容をよく読み、実習で使用するノートパソコンにJMPをダウンロード・インストールしてください。そして医学部情報担当に利用申請をして、ライセンスファイルを手に入れて、ライセンスの更新をし、JMPを使える準備をして実習に参加してください。みなさんの個人のパソコンにもインストールできますので、ノートパソコンなどにインストールして実習に持ってきてください。

[到達目標]

- ・ワープロを使ってすばらしいレポートを書く
- ・表計算ソフトを使って集計し、すばらしい図表を作成する
- ・プレゼンテーションソフトを使ってすばらしい発表をする
- ・統計ソフトを使ってすばらしい集計と簡単な統計計算を行う

[授業計画と内容]

第1回 4月21日 インTRODクシヨ、表計算ソフトを使う

第2回 4月28日 統計ソフトJMPを使う

5月5日 こどもの日

第3回 5月12日 グループ実習1: テーマ選択・データ収集

第4回 5月19日 グループ実習2: データ収集

第5回 5月26日 グループ実習3: 集計、解析

第6回 6月2日 グループ実習4: プレゼンテーション

第7回 6月9日 ランダムにわけてみよう

第8回 6月16日 リスク比、リスク差、オッズ比の不思議

第9回 6月23日 割合の差の検定と帰無仮説のほんとうの意味

第10回 6月30日 「95%信頼区間は95%の確率で真の値を含む」わけではない

第11回 7月7日 2×2表を解析する

第12回 7月14日 サンプルサイズを計算していかに多くの対象者が必要かをしる

第13回 7月21日 ランダムサンプリングしてみる

第14回 9月15日 発表会1

第15回 9月16日 発表会2

医療統計学実習(2)へ続く ↓ ↓ ↓

医療統計学実習(2)

[履修要件]

- ・演習室のスペースが32名までですので、社会健康医学系専攻の履修者を優先します。
- ・人間健康科学系専攻、医科学修士、医学博士課程の受講希望者は事前に連絡してください

注 この実習は9月に発表があります

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポートとプレゼンテーション

- ・毎回レポートを提出してもらいます
- ・班ごとのプレゼンテーション
- ・個人ごとのプレゼンテーション (9月)

[教科書]

必須ソフト： JMP

毎回「実習の手引き」を配布します

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習（予習・復習）等]

毎回レポート提出があります

(その他（オフィスアワー等）)

- ・レポートを書いたことのない人は、レポートの書き方に関する書籍などを読んでおいてください
- ・医療統計学実習を履修していないと後期「解析計画実習」は履修できません
- ・毎年スペース以上の履修希望者がいます。例年、2～3名が途中から「参加できなくなった」といつてくるので、参加できなくなる可能性のある人は受講を遠慮してください
- ・途中からの参加は認めません、必ず初回から出席してください

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。